

(2) 食料品・飲料等製造業

◆ 概要

ここでは、産業中分類の食料品製造業と飲料・たばこ・飼料製造業を合わせて食料品・飲料等製造業とする。

平成 17 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、事業所数 402 所、従業者数 10,704 人、製造品出荷額等は 6,004 億 31 百万円となっている。京都市の製造業に占める割合はそれぞれ 11.9%, 14.6%, 26.9%である。

平成 8 年の調査と比較して、事業所は 56 所減(△12.2%), 従業員数は 2,605 人減(△19.6%)と減少しているが、製造品出荷額等のみ 208 億 10 百万円増(4%)となっている。また、前年比では事業所数のみが増、従業者数、製造品出荷額等については減少している〔表Ⅱ-3-2-1, 図Ⅱ-3-2-1〕。

平成 17 年の製造品出荷額等の内訳は、食料品が 1,422 億 39 百万円、飲料・たばこ・飼料が 4,581 億 92 百万円となっている。更に産業細分類でみると、製造品出荷額等が最も多い業種は清酒製造業の 546 億 31 百万円であり、次いで生菓子製造業の 285 億 46 百万円と続いている。

◆ 市内の食料品・飲料等製造業の特色

① 清酒製造業

市内の清酒製造業は伏見区に集積している。伏見区には、長年の歴史の中で培われた醸造技術や良質な水が豊富にある。江戸時代には京と堺を繋ぐ水陸運の要所として栄え、現代に残る清酒製造業なども創業し醸造地基盤を形成した。明治時代後半には、国内有数の清酒醸造地として、兵庫県の灘と並び称されるまでの地位を確立した。

平成 17 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、京都市の清酒製造業は事業所数 24 所、従業者数 880 人、製造品出荷額等 546 億 31 百万円であり、また、平成 16 年度大阪国税局統計書によると伏見地区の酒税課税数量は 114,719 キ

ロリットルと減少気味ではあるが、全国に占める割合は 15.2%となっており、下降気味な兵庫県灘地区の数値とは対照的に、堅調な推移を見せている〔表Ⅱ-3-2-2〕。

総務省平成 17 年家計調査年報によると全国における「清酒」の消費動向は減少傾向にあり、平成 9 年からの減少率は 38.2%となっている。それに比べ、「その他の酒類」の消費は著しく増加しており、平成 9 年から約 3.4 倍になっているが、これは発泡酒等がヒットしたことが影響したと思われる。さらに、近年は焼酎の消費量の増加も顕著に見受けられる〔表Ⅱ-3-2-3, 図Ⅱ-3-2-3〕。

このように、酒類業界は消費者の嗜好多様化を背景に、焼酎市場と発泡酒等の低アルコール飲料市場が拡大傾向にあり、大手各社は、アイテムの多様化を進めるべく新商品開発に力を入れており、開発余力や体力のない企業の淘汰が進んでいる。

② 生菓子製造業

京菓子の歴史は古く、口伝によると、奈良時代に朝廷の御用を勤めた後、平安遷都に伴って京に移転した事業所も存在するほどである。このように、長い歴史と伝統を誇る京菓子は、茶道とともに発達し、御所の年中行事や神社仏閣の供饌(ぐせん)菓子として供され、現在でも、華やかさや品質の高さで全国的に親しまれている。

平成 17 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、京都市の生菓子製造業は事業所数 75 所、従業者数 2,147 人、製造品出荷額等 285 億 46 百万円である。

近年の製造品出荷額等の傾向を見ると、平成 3 年に 399 億円まで増加したものの、平成 14 年まで減少が続いた。しかし、平成 15 年を機に増加に転じており、平成 16 年は 262 億円と昨年比 1 億円増、平成 17 年は 285 億円と昨年比 23 億円の増加となっている〔表Ⅱ-3-2-4〕。

平成 17 年の菓子類の全国の消費動向を平成 9 年と比較すると、スナック菓子、せんべいの落ち込みが大きいことが分かる〔表Ⅱ-3-2-5〕。

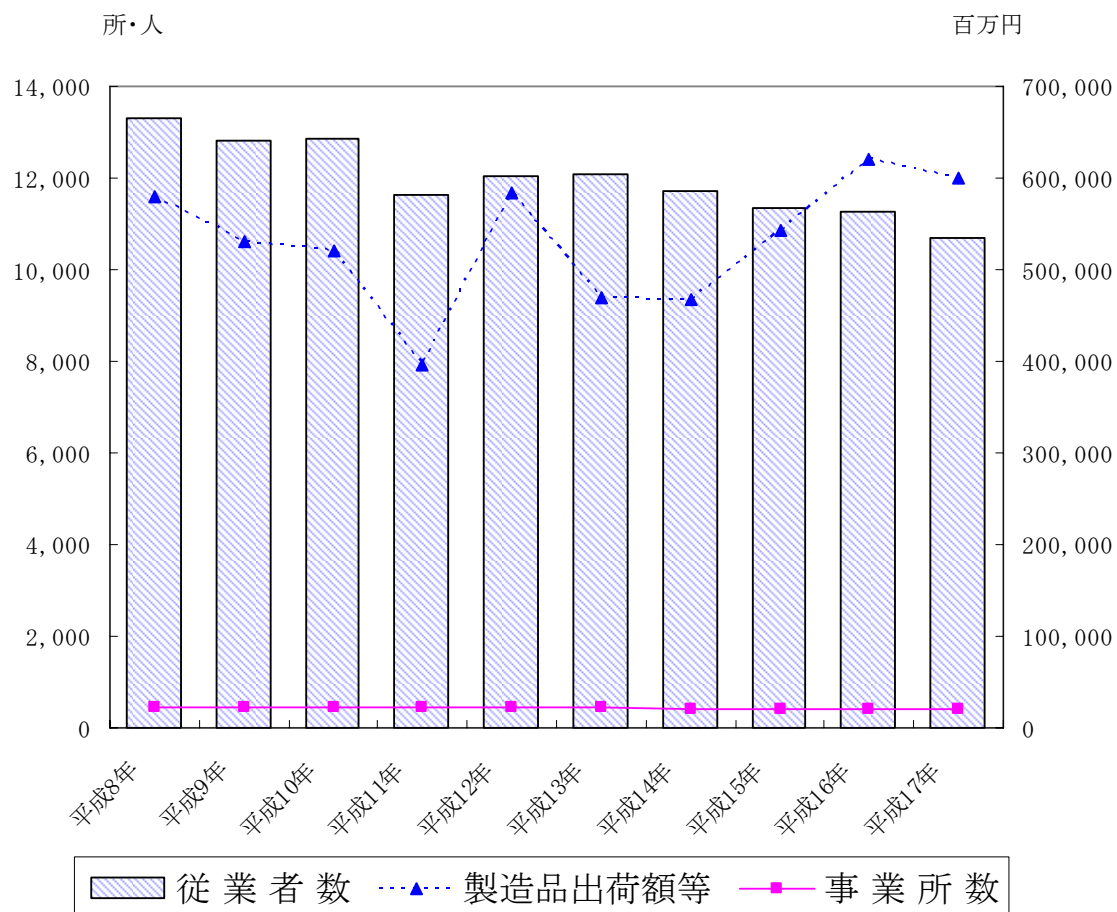
表Ⅱ-3-2-1 食料品・飲料等製造業の事業所数，従業者数，製造品出荷額等の推移

(単位：所，人，百万円)

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成8年	458	13,309	579,621
平成9年	446	12,800	530,884
平成10年	467	12,869	519,696
平成11年	441	11,628	395,333
平成12年	439	12,028	582,896
平成13年	433	12,087	468,833
平成14年	410	11,697	468,208
平成15年	420	11,365	543,188
平成16年	399	11,280	619,739
平成17年	402	10,704	600,431

資料：京都市総合企画局「平成17年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

図Ⅱ-3-2-1 食料品・飲料等製造業の事業所数，従業者数，製造業出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成17年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

表Ⅱ-3-2-2 酒税課税数量（清酒）に占める伏見酒造業の比重の推移

(単位：k l , %)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	16年度／12年度
全 国	999,173 (100.0)	983,807 (100.0)	929,573 (100.0)	868,430 (100.0)	753,011 (100.0)	75.4%
伏 見 地 区	127,441 (12.8)	126,140 (12.8)	120,544 (13.0)	127,517 (14.7)	114,719 (15.2)	90.0%
灘 地 区	303,573 (30.4)	287,260 (29.2)	265,902 (28.6)	222,653 (25.6)	197,991 (26.3)	65.2%

資料：全国「国税庁統計年報書」

伏見地区, 灘地区「大阪国税局統計書」

注：「灘」は西宮，芦屋，灘の税務署管内の合計，「伏見」は伏見税務署管内

() 内は全国に占める割合

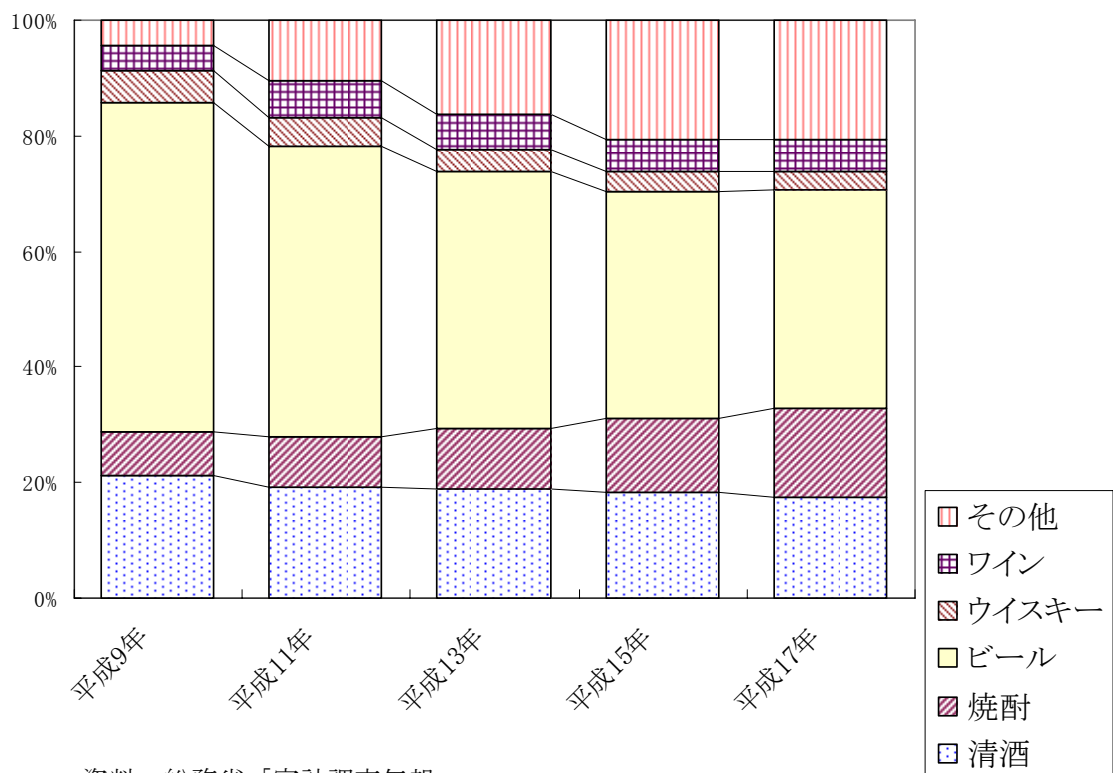
表Ⅱ-3-2-3 全国の酒類の消費動向の推移

(単位：円，％)

	平成9年	平成11年	平成13年	平成15年	平成17年	平成17年／平成9年
酒 類 全 体	52,869	50,978	47,808	45,952	39,555	74.8
清 酒	11,174	9,815	8,990	8,446	6,907	61.8
焼 酎	4,001	4,419	5,009	5,809	6,030	150.7
ビ ー ル	30,233	25,607	21,289	18,113	15,015	49.7
ウイスキー	2,911	2,596	1,866	1,556	1,200	41.2
ワ イ ン	2,178	3,215	2,806	2,589	2,274	104.4
そ の 他	2,373	5,325	7,848	9,441	8,128	342.5

資料：総務省「家計調査年報」

図Ⅱ-3-2-3 全国の酒類の消費動向の推移



表Ⅱ-3-2-4 生菓子製造業の製造品出荷額等の推移

(単位：万円)

	製造品出荷額等
平成8年	3,179,506
平成9年	3,171,724
平成10年	3,202,946
平成11年	2,786,283
平成12年	2,713,829
平成13年	2,517,018
平成14年	2,470,089
平成15年	2,618,307
平成16年	2,620,022
平成17年	2,854,579

資料：京都市総合企画局「平成17年工業統計調査結果報告（従業員4人以上の事業所）」

表Ⅱ-3-2-5 全国の主な菓子類の消費動向の推移

(単位：円，％)

	平成9年	平成11年	平成13年	平成15年	平成17年	平成17年／平成9年
菓子全体	83,104	80,279	77,584	76,739	63,890	76.9
和生菓子	12,756	12,407	12,467	11,997	10,323	80.9
洋生菓子	18,091	17,722	16,980	17,096	13,949	77.1
せんべい	5,719	5,449	5,362	5,057	4,251	74.3
スナック菓子	4,493	4,713	4,268	4,171	2,791	62.1

資料：総務省「家計調査年報」